

2023年11月10日

コスモエネルギーホールディングス株式会社  
取締役会 御中

株式会社シティインデックスイレブンス  
代表取締役 福島 啓修  
株式会社南青山不動産  
代表取締役 池田 龍哉  
野 村 綯



拝啓

時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

貴社が昨日付けで公表した、12月14日に予定されている臨時株主総会（以下「本総会」といいます。）の招集通知を拝見いたしました。弊社らは、11月1日付け貴社取締役会宛書簡により、貴社が自己株式取得を行ってもこれに応じて貴社株式を貴社に売却するつもりはない旨を明確にお伝えいたしました。しかしながら、貴社はこれを無視し、招集通知の内容は弊社らがあたかもプレミアム付きの自社株買いを貴社に求めるかのように誤認されかねないものであり、かつ、弊社らに対する買収防衛策発動の重要な根拠として「プレミアム付きの自社株買いを実施せざるを得ない状況になる可能性があること」と言及されている点は誠に遺憾であり（これ以外の記載内容についても、株主を誤認させる内容が多々見受けられます。）、本総会において株主の判断を誤導する説明に基づき決議を強行しようとしている点、極めて問題であると言わざるを得ません。

11月8日の貴社の第2四半期決算発表に合わせて、貴社は今期の一株当たり配当予想を250円から300円に引き上げられましたが、同日の決算説明会においてアナリストから300円とした根拠についての質問や、上方修正後の2024年3月期の通期見通しに基づけば（自己株式取得を行わない前提で）一株当たり配当は400円を超えるはずであるとの指摘に対して、山田代表取締役社長からは「（中期経営計画の）最後に精算することはしない。早期に還元していきたい。」という中期経営計画発表時の説明を引用されたものの、質問自体に対する明確な回答はありませんでした。しかしながら、弊社らとの面談において、山田代表取締役社長が「（3事業年度累計は）受けが悪い」と仰った通り、貴社においては単年度での総還元性向6割をコミットし、実現することが株主価値向上に向けて重要であることを十分にご理解されているはずです。そうであれば、なぜ貴社はそれを実行に移されないのでしょうか。

弊社らとしましては、貴社が①単年度で6割の総還元性向とすること、②自己資本が6,000

億円を超えた場合、それを超えた分は全て株主に対して還元すること、この2点について貴社がコミットし、公表することを強く要請いたします。そして、貴社が上記2点についてコミットし、公表をした場合には、南青山不動産及び野村絢が7月27日付けで提出した大規模買付行為等趣旨説明書を取り下げる意向です。

貴社の株主価値向上は弊社らのみならず貴社のすべての株主が望んでいることであり、上記について真摯にご検討をいただきたく存じます。貴社経営陣におかれましては、自己保身ではなく、貴社の株主に誠実に向き合った意思決定をいただきたく宜しくお願ひ申し上げます。

敬具